

富山大学芸術文化学部・大学院芸術文化学研究科 卒業・修了制作展

富山大学芸術文化学部准教授 伊東 多佳子



■開催概要

2010年に全国でも類を見ない公立美術館の企画展として始まった富山大学芸術文化学部の卒業研究制作展。9回目を数える2018年は、開催当初からの展示美術館である高岡市美術館において、「GEIBUN9 富山大学芸術文化学部・大学院芸術文化学研究科卒業・修了制作展」として、芸術文化学部卒業生107名、芸術文化学研究科修了生10名による総作品数117点の油画、日本画、立体、メディアアート、インタラクティブアート、アニメーション、金属工芸、漆工芸、木工芸、ジュエリー、ヴィジュアル・デザイン、プロダクト・デザイン、クラフト・デザイン、建築意匠、都市計画、まちづくり、建築環境、材料工学、建築史、美術史、美学、文化論などの卒業・修了研究制作を一堂に展示し、その成果を示しました。

芸術文化学部は、芸術文化学科1学科のうちに造形芸術、デザイン工芸、デザイン情報、造形建築科学、文化マネジメントの5つのコースを擁し、コースの垣根を越えた融合教育を特色とした、さまざまな分野の研究、制作を行っています。この特徴を表現するために、「cue一きっかけ、手がかり」というテーマのもとに、学生たちが一瞬のきらめきのような手がかりをつかもうと奮闘し、答えを探してたどり着いた先をさまざまに指し示しつつも、新たな学部のコンセプト『『芸術』だけでも、『文化』だけでもない、『芸術文化』という概念』を具現化するために、従来のジャンルの枠を取り払い、ジャンルの異なるものの混成の中に融合的な思考が感じられるように、展覧会全体を、多様性の中のきらめきを表現するインスタレーションとして構成しました。

■展覧会場

高岡市美術館 第1、第2、第3展示室および地階市民ギャラリー、ビートークホール（〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号）

■展覧会期

2018年2月10日(土)～2月25日(日)
オープニングは2月9日(金) 14日間

■主催

富山大学芸術文化学部卒業・修了制作展実行委員会（富山大学芸術文化学部、公益財団法人高岡市民文化振興財団・高岡市美術館）

■共催

高岡市、高岡市教育委員会

■後援

富山県、富山県教育委員会、高岡商工会議所、高岡市美術館友の会

■協賛

創己会

■関連イベント

○オープニング・イベント

富山大学芸術文化学部生の企画によるGEIBUN9の見どころ紹介と内覧会

2月9日(金) 午後3時 高岡市美術館ビートークホール

○公開プレゼンテーション

豊かさのかたち 2月15日(木)、16日(金) 午前9時30分～午後4時30分（高岡市美術館展示室、ビートークホール）デザイン工芸コースの学生による公開プレゼンテーション

私たちが創り出した「こたえ」 2月15日(木) 午後1時～午後4時30分（高岡市美術館展示室）デザイン情報コースの学生による公開プレゼンテーション

○ゲストトーク

2月10日(土) 「描く力」
山口晃（画家）

2月17日(土) 「いま、建築でできること」
青木淳（建築家）

2月18日(日) 「伝統工芸と地域づくりーデザインの新たな可能性について」
城谷耕生（デザイナー）

2月24日(土) 「美術館の仕事ー島敦彦の場合」
島敦彦（金沢21世紀美術館館長）

2月25日(日) 「個性の発見とアニメーション」
田中達之（アニメーション監督）



■卒展の魅力を表現するために

展覧会の構成は、キュレーター委員会展示計画班により何度も議論を重ねて検討しました。卒展という性質上、作品提出締切の翌日が搬入準備というスケジュールの中で、作品を実際に見ることなく計画しなければならない非常に困難な状況は避けることができません。また、2018年は記録的な豪雪となり、搬入日が丸一日削られてしまうというアクシデントにも見舞われました。しかし、従来のジャンル別展示をやめ、様々な作品や論文を混合させる展示や、建築模型を大テーブルに一つにまとめる迫力のある展示に工夫をこらすとともに、作品のビハインド・ザ・シーンを伝えるためのQRコードの導入を行い、観客に楽しんでもらう仕掛けを施す展示を実現できたので、評判もきわめてよく、来館者数は前年の3,615名を大きく上回る4,804名を記録しました。加えて、今年度から新たに始まった学部による顕彰制度、Geibun Prize20点と様々な分野の第一線で活躍するゲスト5名によるゲスト賞16点も合わせて掲示することで、学生たちにも大きな励みとなりました。全体的に見て、今後の芸術文化学部の卒展の新たな展開を期待させるような展覧会になりました。

■運営組織

○富山大学芸術文化学部卒業・修了制作展実行委員会

顧問：遠藤俊郎（富山大学長）高橋正樹（高岡市長）

参与：川村人志（高岡商工会議所会頭）

委員長：武山良三（富山大学芸術文化学部長）

副委員長：伊東多佳子（富山大学芸術文化学部准教授）

二塚英克（高岡市市長政策部長）

委員：沖和宏（富山大学芸術文化学部准教授）

宮崎晃一（公益財団法人高岡市民文化振興事業団事務局長）

大野洋靖（高岡市市長政策部文化創造課長）

杉森芳昭（高岡市教育委員会生涯学習・文化財課長）

村上隆（高岡市美術館長）

監事：田村修一（富山大学芸術文化学部総務課長）

南本宗憲（高岡市美術館友の会理事）

○キュレーター委員会

顧問：村上隆（高岡市美術館長）

委員長：伊東多佳子（富山大学芸術文化学部准教授）

委員：【展示計画班】上原雄史（富山大学芸術文化学部教授）、西島治樹（同、准教授）、高島圭史（同、准教授）、

内藤裕孝（同、講師）、三宮千佳（同、講師）【イベント班】

萩野紀一郎（同、准教授）、平田昌輝（同、講師）【プレス・PR班】

有田行男（同、准教授）、小川太郎（同、講師）

学生委員：小泉巧、森井大仁、山中怜奈（富山大学大学院芸術文化学研究科2年）

長野大地、水野千佳子、溝口沙也佳（同、芸術文化学部造形芸術コース4年）、堀内快、

上野舜香、尾崎七夕、小池杏奈、村中仁衣奈、山村あすみ（同、デザイン工芸コース4年）

木下佑紀乃、小林礼美、西沢明恵、長沢佳奈、神通佳奈子、田中沙里（同、デザイン情報コース4年）、

飯島ひかる、中村真白、吉田愛、井上悠一郎、Andoko, Yosua A. P.（同、造形建築科学コース4年）、

大野比奈、小野澤佳奈、奥垣内未来、西田美晴、竹松茉那（同、文化マネジメントコース4年）

小林美波、島沙耶花（同、造形芸術コース3年）

湯澤花菜、渡辺貫太（同、デザイン工芸コース3年）

松崎真凛、村井美月、山下斐子（同、デザイン情報コース3年）、

竹内常人、坂元美咲（同、建築デザインコース3年）、

浦本咲、濱田楓、米沢空（同、芸術文化キュレーションコース3年）

事務局：森田義章、羽鳥良斉、堂垂奈美、新開左和子（富山大学芸術文化学部総務課総務・研究協力チーム）、

関野正弘（高岡市美術館副館長・管理課長）

野隆之（高岡市美術館主査）



